

情報

農業で広がる輪

横須賀の就労支援へ交流1年

山形と物産市やツアー

引きこもりの若者らの就労支援などを行っている横須賀市の特定非営利活動法人(NPO法人)「アングージュマン・よすか」(小柳良代表)が山形県の農家と交流を始め、一年を迎えた。事務所がある同市上町の商店街で月一回、物産市を開いているほか、十月には現地の農業体験ツアーに参加。交流の輪が広がっている。(高野 学)

アングージュマンが、山形県内への就農者でつくる「山形県新規就農者ネットワーク」(山川正信会長)と知り合ったのは昨年夏。横浜駅周辺で開かれたイベントで会員らが手作りのアクセサリを販売し、会場に同ネ



山形でサトイモの収穫を手伝うアングージュマンの会員ら

「ネットも出店していたことが縁となった。販路開拓を目指す同ネットと就労の機会を求めアングージュマンの二週間が一致。昨年十月から月一回、人情味厚い上町の商店街で「山形物産市」を始めた。同ネット

のメンバーが新鮮な有機野菜や果物を持ち込み、アングージュマンの会員らが販売。値段も手ごろで人気を集めている。また、十月十五日から

二泊三日で同ネット会員の農家を訪ねる農業体験ツアーにも参加。就農者確保を狙う山形県などが神奈川県内で就労支援を行っている団体に呼び掛けて企画した。

アングージュマンからは三人が参加。サトイモ

横須賀

自家農園産の栗ざんま
自家農園の栗をふんだんに使
飾られた栗は大粒で、作り物と



午前10時～午後7時。月曜休

和栗のモンブラン「チョコレートフェジュール

ヒマラヤにそびえるエベレスト(チョモランマ)の切り立った岩た。1個504円。蒸し上げ、鬼愛媛産の和栗に渋皮煮を合わせ本産の球磨栗をペースト状に絞出した。中の栗はほっこりしたで、表面は茶巾絞りのきんとんターチョコを塗ったアーモンド生地でさっくり感を出し、ふ雲をイメージして生クリームキは一つのキャンパス。チョコ落とし込んでいく。見た目、味たいんです」とシェフの宍戸哉

蒸し栗のモンブラン

栗そのものの風味



一キによって6種類を使栗が丸ごと1個入ったマロンバ未まで。小田原ラスカ1階にも☆小田原市城山1の6の32。半～午後8時。不定休。☎04

情報は横須賀支社 ☎046(822)2020



秋季練習に励む石井選手(左)と梶合選手



演劇盛り込んだ

横須賀市は二十日、

市税未納者の個人情報紛失

横須賀市職員

やリンゴの収穫、箱詰めなどの作業を手伝った。同行した事務局責任者の島田徳隆さんは「すぐに会員らの就農に結びつくわけではないが、有機野菜を育てる大変さが分かり、とても刺激になった」と話している。

おめでた
田上 博道ちゃん(たのうえひろみち)東広島市西条中央。田上昌美・和博さんの長男。9月25日。逗子八尾産婦人科。

納税課の男性主任(47)が、市税未納者の生年月日や勤務先などを記載した五人分の調査票などの公文書を紛失したと発表

主任は木署交番カバンほかに未名などが書一人分が携帯すども入っ

同課によると、主任は十一日正午ごろ、横浜市南区に住む未納税者の自宅を訪問した後、昼食をとるため京急線日ノ出町

京急線に乗ると、三浦で今週末に開かれる一大イベントの広告を目にす

五カ所の朝

「きらり」



ふ美芳のめだかの
何をしょうかムはこれなんと